

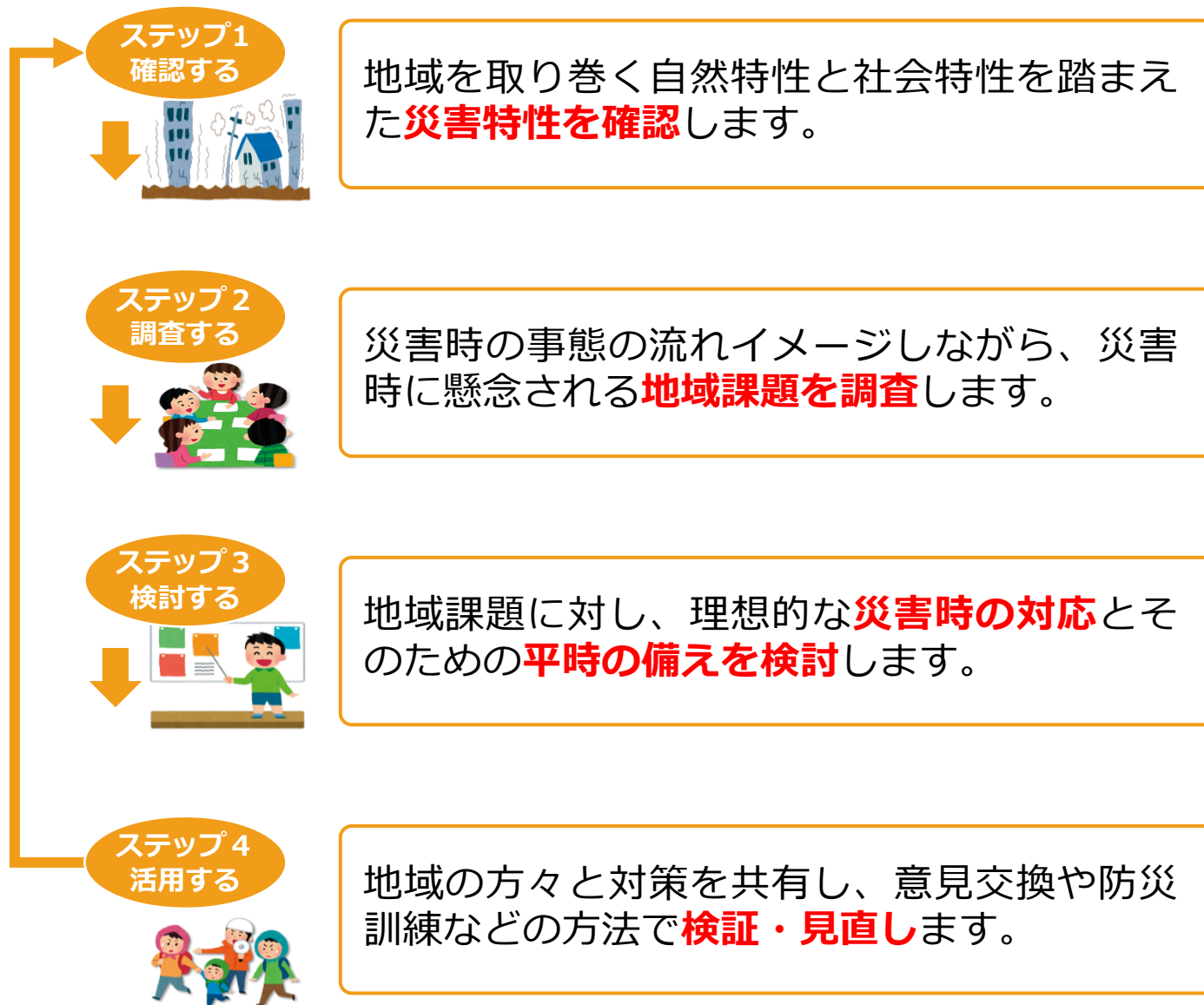
【宇和島市】和霊校区 地区防災計画策定支援

第2回ワークショップ

災害時の対応と平時の備えの検討

防災科学技術研究所

「地区防災計画づくり」のすすめ



スケジュール（案）

**【8月25日】
勉強会**

地域調整

**【9月28日】
第1回WS**

防災まちあるき

**【11月30日】
第2回WS**

計画素案の作成

**【1月●日】
第3回WS**

地域発表会

災害時の地域課題を調査

ステップ1
確認する



ステップ2
調査する



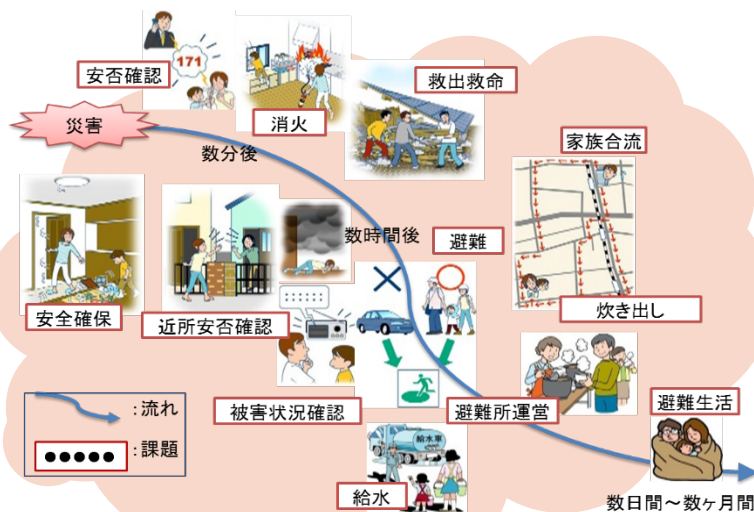
ステップ3
検討する



ステップ4
活用する



災害時の事態の流れをイメージしながら、災害時に懸念される課題を調査します。



災害時の事態の流れ (地震の例)

災害時の事態×地域の特性

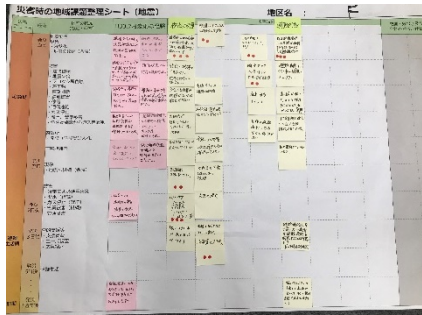
- 年配の方が多く、平日の昼に地震が行ったら、人手が足りなくなりそうで・・・
- 地域は古い家が集まっているけど、火事の対応は大丈夫？
- 私の地区には高齢者が多いけど、避難支援はできる？
- 高齢の方々は、大雨のとき、早目に自主的に避難できるかしら・・・



- 友だちが住んでいる高層マンションでは、高層階へ食料や物資を提供できる？
- 夫の職場の駅周辺は企業が多いけど、帰宅困難者の対応は大丈夫？
- あの商店街は外国人が多いけど、避難誘導ができる？

災害時の地域課題の整理

ハザードマップを参照しながら、災害時の地域課題を時系列・主体別に整理
優先的に対策検討すべきテーマを検討



B班
地震・想定

C・D班
地震・想定

A班
豪雨・土砂

第1回ワークショップ「災害時の地域課題の整理」記録まとめ

地区の状況	想定・参考	安否確認	テーマ	福祉避難	救護・気づき及び今後の対応方針	評価
避難発生 経緯 ・豪雨 ・地盤の緩み(赤色) ・電柱・ブロック、土砂崩れ、壁が倒れる、車道がはなれ		安否確認が十分に出ない(夜間)	地域課題 ・避難のタイミングがわからない ・高齢者はどうやって避難するか			

F班
地震・想定

第1回ワークショップ「災害時の地域課題の整理」記録まとめ

地区の状況	想定・参考	避難行動	テーマ	避難生活	福祉避難	救護・気づき及び今後の対応方針	評価
避難発生 経緯 ・地震発生		避難場所がない、音が知らない	地域課題 ・救護にあたる人の確保 ・身体不自由者の情報がない				

G班
豪雨・土砂

第1回ワークショップ「災害時の地域課題の整理」記録まとめ

地区の状況	想定・参考	福祉避難	テーマ	安否確認	救護・気づき及び今後の対応方針	評価
避難発生 経緯 ・豪雨 ・土砂崩れ、壁が倒れる、車道がはなれ		避難場所がない、音が知らない	地域課題 ・電柱が古いので倒れて避難経路をふさぐ ・避難を嫌がる高齢者をどうするか			

第1回ワークショップ「災害時の地域課題の整理」記録まとめ

地区の状況	想定・参考	安否確認	テーマ	福祉避難	救護・気づき及び今後の対応方針	評価
避難発生 経緯 ・豪雨 ・地盤の緩み(赤色) ・電柱・ブロック、土砂崩れ、壁が倒れる、車道がはなれ		避難場所がない、音が知らない	地域課題 ・誰が避難の声掛けをするか ・避難場所が遠すぎる			

第1回ワークショップ「災害時の地域課題の整理」記録まとめ

地区の状況	想定・参考	避難行動	テーマ	安否確認	救護・気づき及び今後の対応方針	評価
避難発生 経緯 ・豪雨 ・土砂崩れ、壁が倒れる、車道がはなれ		避難場所がない、音が知らない	地域課題 ・坂道や細い道、ブロック塀等避難に支障が出る避難経路 ・要支援者の確認ができない			

E班
豪雨・土砂

第1回ワークショップ「災害時の地域課題の整理」記録まとめ

地区の状況	想定・参考	避難行動	テーマ	福祉避難	救護・気づき及び今後の対応方針	評価
避難発生 経緯 ・豪雨 ・土砂崩れ、壁が倒れる、車道がはなれ		避難場所がない、音が知らない	地域課題 ・水害時の避難場所が明確でない ・老人が多く避難が困難			

防災まちあるき → 防災マップづくり (今回)

災害時の地域課題の確認及び防災マップづくりの素材収集のため、各地区で防災まちあるきを実施

地区	実施日
A班	10月8日 (火)
B班	11月9日 (土)
C・D班	10月25日 (金)
E班	11月16日 (土)
F班	10月27日 (日)
G班	11月10日 (日)



B班



C・D班



F班



G班

災害時の対応と平時の備えを検討

ステップ1
確認する



地域資源を活かした災害時の対応と、そのための平時の備えを検討します。

課題 (例)

地域資源



できること

具体的な名称
を考える!

ステップ2
調査する



安全な避難



こども会
自治会



子どもの安否確認
自治会の被害状況把握

ステップ3
検討する



要配慮者の支援



介護・福祉施設



福祉避難の受け入れ
(支援協力)

ステップ4
活用する



任せて!

防災資源

防災のために整備された
さまざまな人材・資機材
・施設 など



自主防災

社会資源

防災を目的としていな
いが、災害時に役立つ
人材・資機材・施設など

役に
立つよ!



災害時の対応（理想） ← 解決のための備え

資料集 20

避難
行動

災害時
対応

平時
備え



被害状況の確認



安全な避難ルート確認



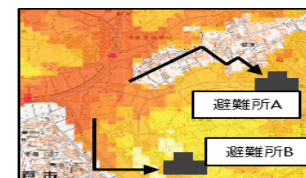
みんなで安全に避難



情報共有の体制構築



危険個所の確認・修繕

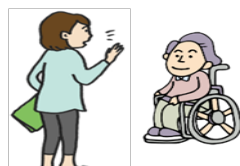


避難マップ作成

福祉
避難

災害時
対応

平時
備え



要配慮者を訪問



安否を確認



福祉避難を支援



要配慮者と担当の整理



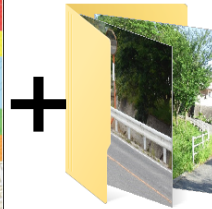
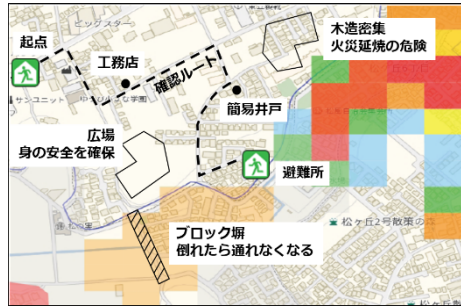
福祉避難ルール決め



福祉施設と関係構築

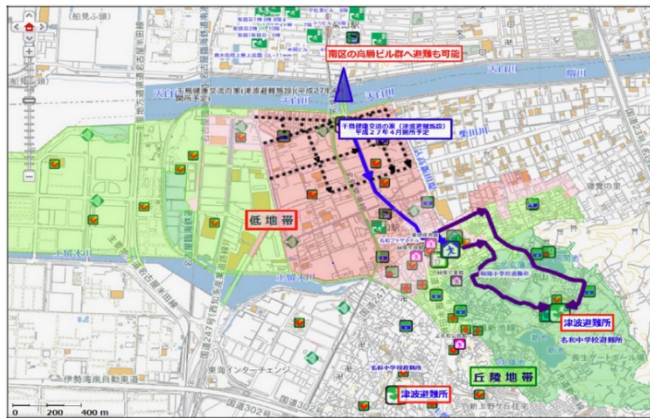
地区の課題に対し、防災まちあるき等で発見した地域資源等を活かした「災害時の理想的な対応」を整理したあと、それを実現するために「平時の備え」を検討。

防災マップづくり



防災まちあるきで
記入した地図

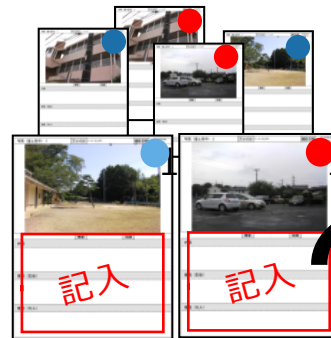
写真



「地域防災Web」にてデジタル化
➡印刷して「地区防災計画」に挿図

「災害時の対策検討」

防災マップにまとめた危険箇所や地域資源に関する情報をもとに、災害時の対策を空間で検討します。

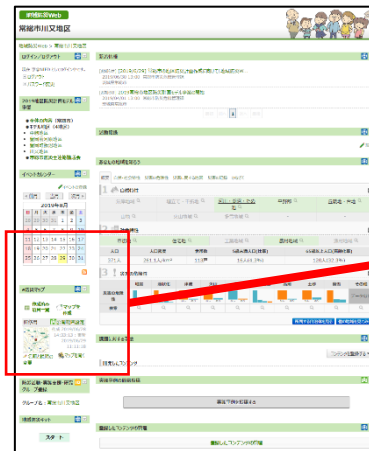


資源 注意

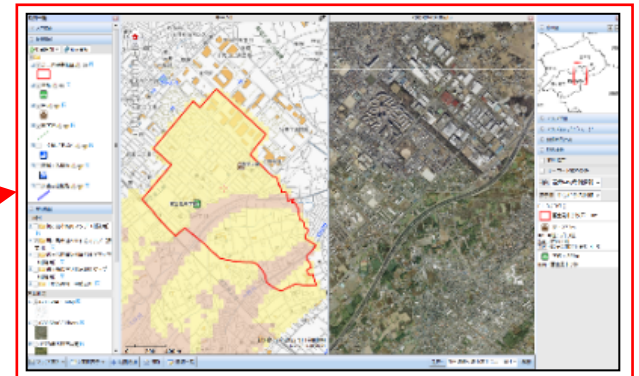


登録

○○の連携



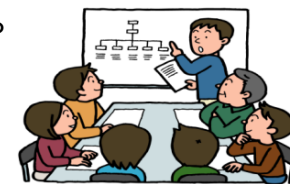
地域防災Web



e防災マップ

防災マップづくりにおける地域との連携例

防災計画やハザードマップ等、防災に関する専門的な情報を利用して地域で起こりうる災害を学ぶ。



行政

専門知
被害想定
ハザード情報 等

経験知
災害履歴
被災経験 等

地域防災情報

地域知
地域実態
災害文化 等



地域

地域防災に関するこどもの視点に対し、消防団や防災組織等の大人の災害対応の経験を学ぶ。

災害時の注意・危険個所をはじめ、安全な避難や効果的な避難生活に役に立つ社会資源を学ぶ。



防災マップのつくり方

40分

- ① 「写真票」に名称、場所、コメントを記入
- ② 写真を確認して、丸シールで分類
- ③ 写真票と地図上の場所に、同一の丸シールを貼り、同一の番号記入
- ④ 写真票を地図周辺に配置



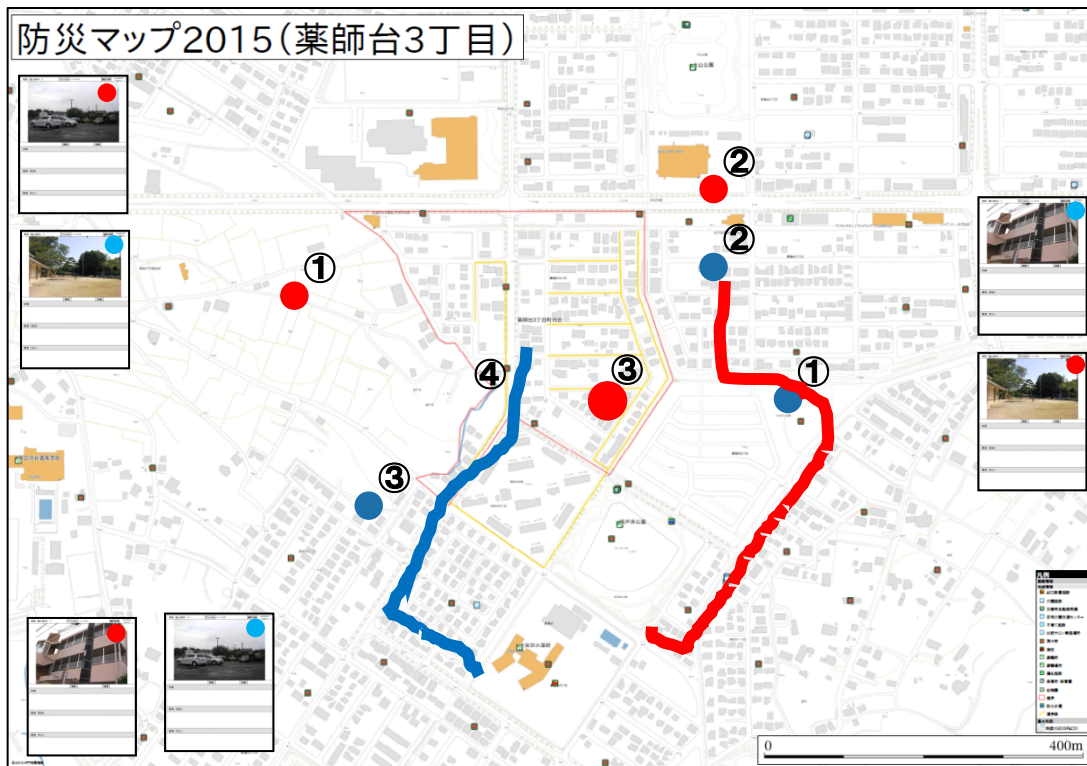
● 地域資源 ● 注意・危険

③ 連番 記入

② 丸シール

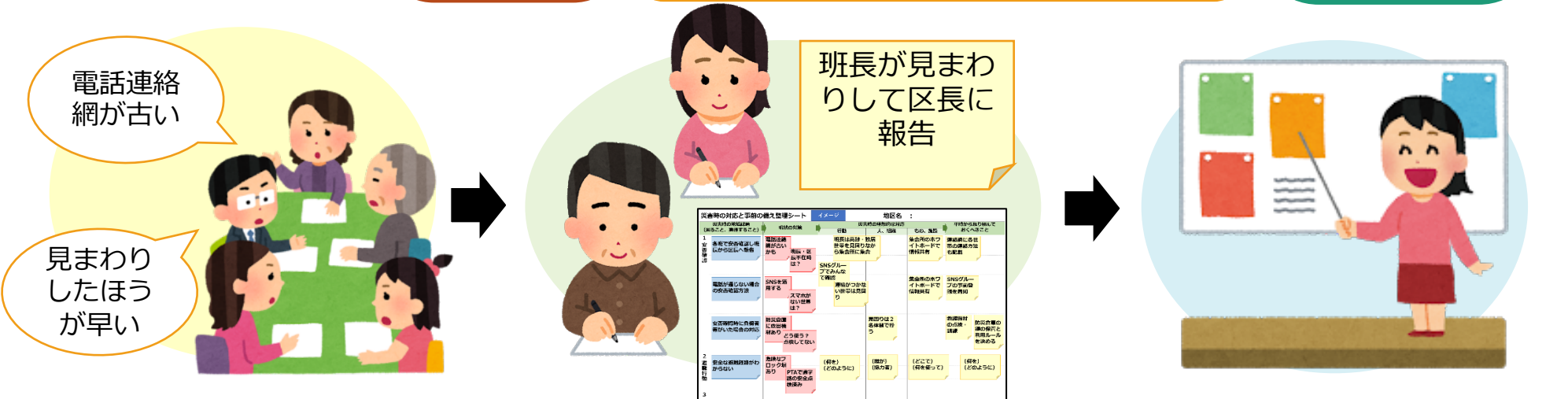
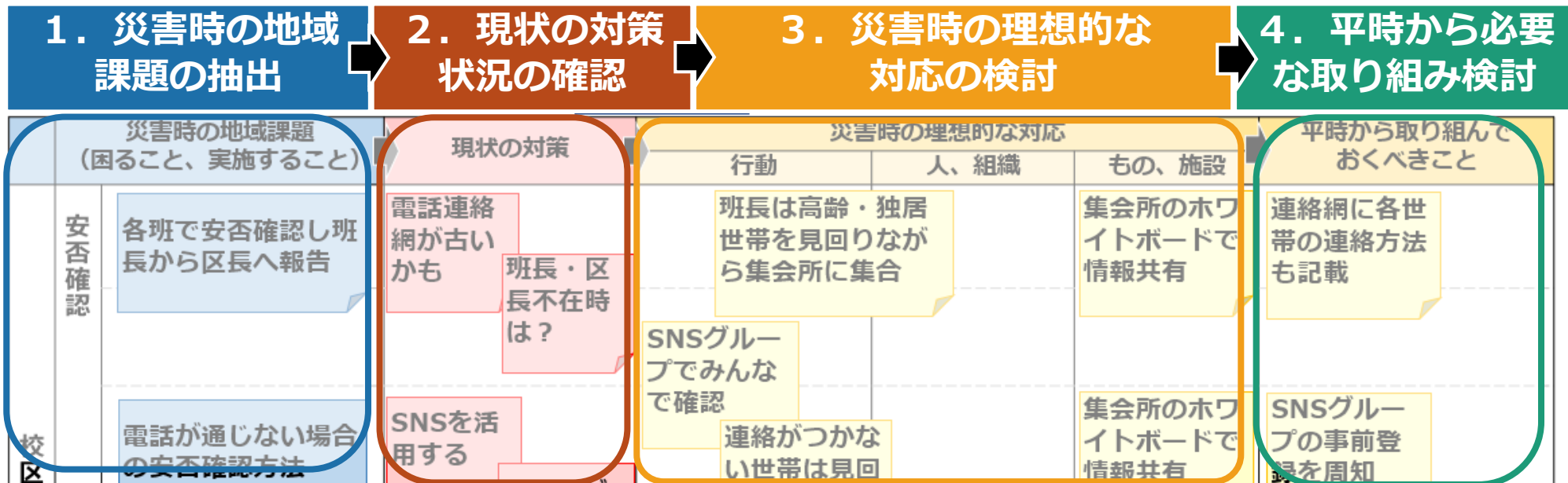
① 記入

名称	「名称リスト」参照 (別紙)	
場所	薬師台2丁目〇〇付近	
コメント	転倒危険性があり修繕必要	



50分

対策検討の進め方 1～4



議論を進めながら各自付せんに記録し、ワークシートに整理し、発表します

議論のルール

【発言方法】

- 聞き取りやすい声でゆっくりとお話してください。
 - ・記録しやすいように
- 他の方のお話も聞きましょう。

【記録方法】

- **進行係、整理係、発表者を決めてください。**
- **（進行係）** 各テーブルで議論の進行をお願いします。
- **（整理係）** ワークシートへの付せんの貼り付け・整理をお願いします。
- **（各自）** 発言内容を付せんに書いてください
 - ・一枚の付せんに一つのことを書くように
 - ・発言内容を細かく大きく書くように



10分

対策検討の進め方 1

1. 災害時の地域課題の抽出

2. 現状の対策状況の確認

3. 災害時の理想的な対応の検討

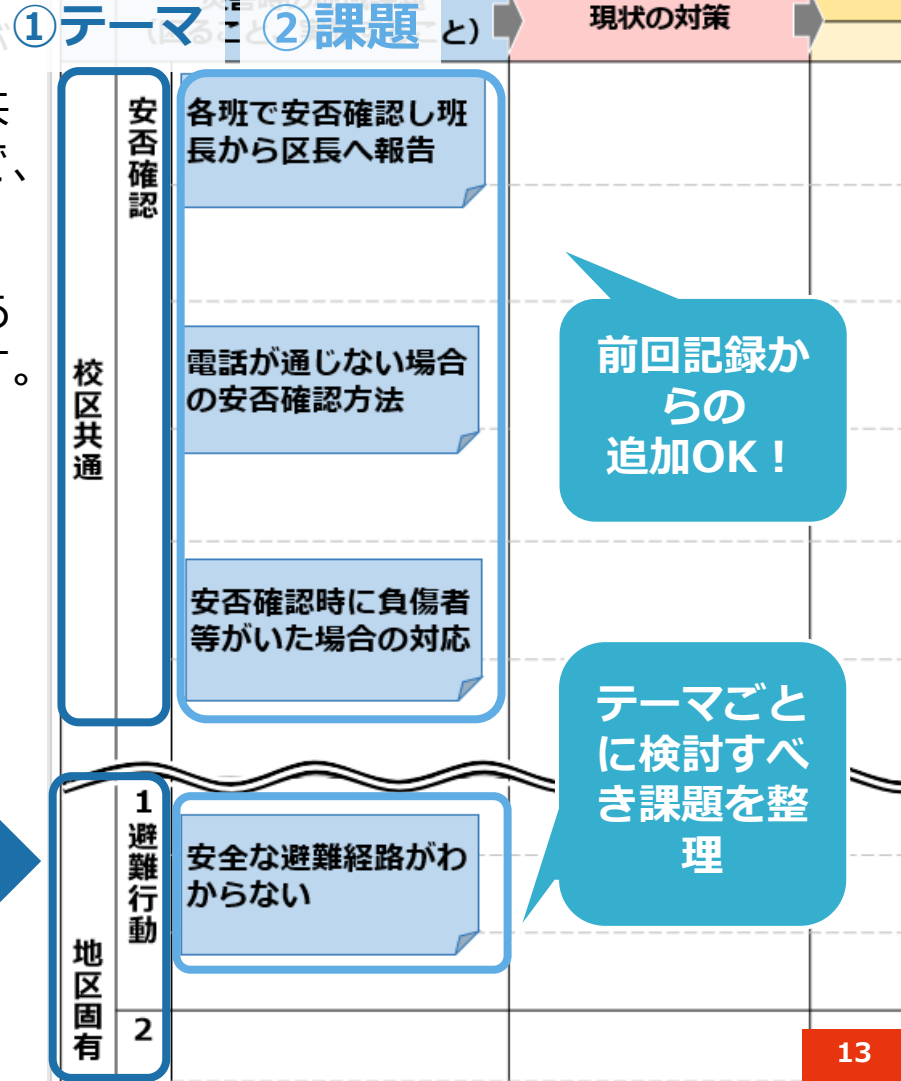
4. 平時から必要な取り組み検討

前回ワークショップで検討したテーマと「重要度が高い」(◎、○)と評価した地域課題が、【校区共通】、【地区固有】に分けて整理されていますので、確認してください。

各テーマについて対策を検討すべき課題が他にもあれば、水色付せんに書き、ワークシートに貼ります。

第1回ワークショップ「災害時の地域課題の整理」記録まとめ

経過	地区	テーマごとの地域課題				課題・気づき及び今後の対応方針	評価
		情報収集	評価	避難行動	評価		
発表前日	① ② 気象情報・台風や大雨・道路状況	情報が得られない	避難行動は取らない	①	②	③	◎
発表12時間前	避難情報・避難準備・高齢者等避難開始・避難勧告・避難指示(緊急)・避難所・開設	1分で確かめる	水害時の避難場所が明確でない	◎			○
		情報紙、TV、防災ラジオ	地域のリーダーシップを担う人がいない	○			
発表発生	避難情報・避難指示(緊急)	行動に結びつけない情報(見極めが困難(TV,スマホ,ラジオ等))	当面、被害を減らすべくなければ自宅にて待機				
		隣近所との情報共有					
		水害による土砂災害の心配(山林)					



10分

対策検討の進め方 2



各課題の現状について「どのように対応することになっているか」「問題点」などをピンクの付せんに書き、課題の横に並べます。

各班で安否確認し班長から区長へ報告

電話連絡網を活用する
(古いかも?)



班長・区長不在時の連絡方法を決めてない...

災害時の地域課題 (困ること、実施すること)		現状の対策	行動
校区共通	安否確認 各班で安否確認し班長から区長へ報告	電話連絡網が古いかも 班長・区長不在時は?	
	電話が通じない場合の安否確認方法	SNSを活用する スマホがない世帯は?	
	安否確認時に負傷者等がいた場合の対応	防災倉庫に救出機材あり どう使う? 点検していない	
地区固有	2 からない	危険なブロック塀あり PTAで通学路の安全点検済み	

対策検討の進め方 3

資料集
21, 22, 23, 24

15分



各課題の現状の対策状況を踏まえ、「考えるポイント」に沿って災害時の理想的な対応を検討し、黄色の付せんを書いて「行動」「人、組織」「もの、施設」に整理します。

考えるポイント

- いつ
- どこで
- だれが
- なにを
- どのように

	現状の対策	災害時の理想的な対応			平時から取り組んでおくべきこと
		行動	人、組織	もの、施設	
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">地区固</div> <div style="font-size: small;"> 1 避難行動 安全なからな 2 3 </div> </div>	連絡が古い 班長・区長不在時は？ スマホがない世帯は？ 防災倉庫に救出機材あり どう使う？点検してない 危険なブロック塀あり PTAで通学路の安全点検済み	班長は高齢・独居世帯を見回りながら集会所に集合 (何を) (どのように) い世帯は見回り (誰が) (協力者) (何を) (どのように)	集会所のホワイトボードで情報共有 集会所のホワイトボードで情報共有 (何を) (協力者) (何を) (協力者) (何を) (協力者)		

対策検討の進め方 4

資料集
21, 22, 23, 24

15分



災害時に理想的な対応を行うために事前に取り組んでおくべきことを検討し、黄色付せんに書いて貼ります。

防災まちあるきで発見した「地域の資源」を思い浮かべながら、地域ならではのアイデアを考えましょう！

	災害時の地域課題 (困ること、実施すべきこと)	理想的な対応		平時から取り組んでおくべきこと
		組織	もの、施設	
校区共通	安否確認 各班で安否確認 長から区長へ		集会所のホワイトボードで 情報共有	連絡網に各世帯の 連絡方法も記載
	電話が通じない の安否確認が		集会所のホワイトボードで 情報共有	SNSグループの事前登録を 周知
地区固有	安否確認時に負傷者 等がいた場合の対応	防災倉庫に救出機 材あり どう使うか 点検してない		救護機材の点検・ 訓練 防災倉庫の鍵の保管と 利用ルールを決める
	1 避難行動 安全な避難経路がわ からない	危険なブ ロック塀 あり PTAで通学 路の安全点 検済み	(何で) (どこで) (何を) (どのように) (何を) (どのように)	(何を) (どのように)
2				

- (何を) (どのように)
- (誰が) (協力者)
- (どこで) (何を) (どのように)

発表・全体共有

各3分

各グループで議論・整理した対策の中から、地域でもっと重要と思う、かつ他の地域との違いがある1つの課題について、災害時の対応と平時の取組みを紹介。

「安否確認方法が決まっていない」という課題について、私たちの地区は範囲が狭いので、災害時は「役員全員で見まわりをしながら集会所に集まること」を決めました。そのための準備として、「それぞれの役員がどの範囲を見まわるか、役員交代時に決めること」にしました。

	災害時の地域課題 (困ること、実施すること)	現状の対策	災害時の理想的な対応			平時から取り組んでおくべきこと
			行動	人、組織	もの、施設	
安否確認	安否確認方法が決まっていない	長・区不在時？	役員全員が見まわりを行う	集会所の近所、イトボー情報共有	各役員を担当範囲を決める	
校区共通	安否確認時に負傷者等がいた場合の対応	スマホがない世帯は？	集会所に集まり情報共有	連絡が取りにくい世帯	救護機材の点検・訓練	
		防災倉庫に救出機材あり	見回りは2名体制で行う	どう使う？点検してない	防災倉庫の鍵の保管と利用ルールを決める	
1 避難行動	安全な避難経路がわからない	危険なブロック塀あり	(何を) (どのように)	(誰が) (協力者)	(どこで) (何をを使って)	
地区固有		PTAで通学路の安全点検済み			(何を) (どのように)	

1つの課題への対策に絞ってください

